



ほけんだより

H22.7.27すみよし愛児園



ヘルパンギーナ

◆ すみれ組 3名

- ・ 1名・・・26日 15:00 38.7℃の発熱により早退、
受診しヘルパンギーナと診断
(26日午後 40.0℃まで上昇、のどに水泡)
- ・ 1名・・・26日 夜 38.5℃、
27日 朝 38.5℃で欠席、受診しヘルパンギーナと診断
- ・ 1名・・・27日 登園時 37.2℃、10:00 38.7 の発熱により午前早退
受診しヘルパンギーナと診断

ヘルパンギーナについて

- ◇かかやすい季節 夏～秋
- ◇主な症状 発熱、のどに水泡
- ◇その他
 - ・ 夏かぜのウィルスによって起こる
 - ・ 潜伏期間は2～4日
 - ・ 突然39度前後の高い熱が出て、のどの奥に小さな水泡が数個～十数個できる
 - ・ 咳や鼻水はない
 - ・ 水泡が手や足に出てきた時は手足口病の可能性あり

感染力も強い病気です。小さい子どもたちの生活する保育園ではできる限り感染を防いでいきたいと思っております。登園の際は許可証を提出していただけますよう宜しくお願いいたします。